



徐脈編①

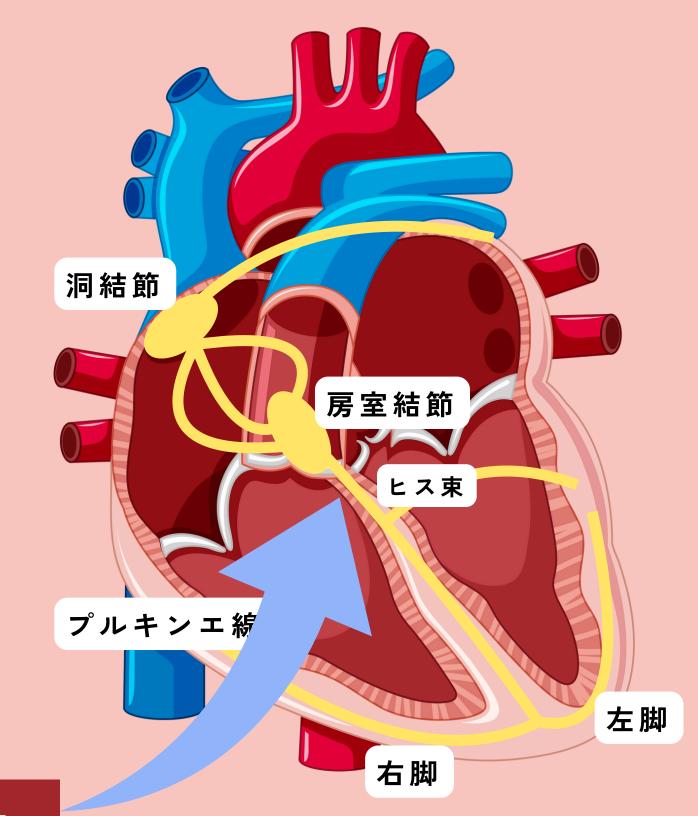


ウェンケバッハ型・モビッツII型

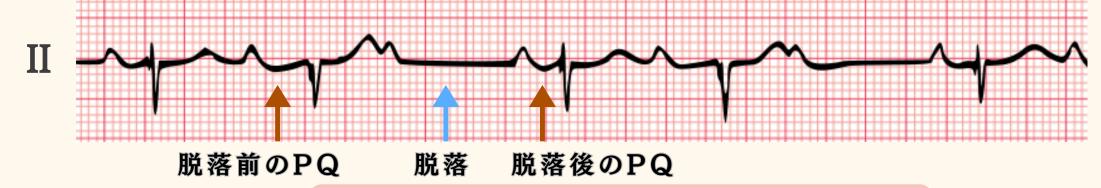
2:1房室ブロック・bloked PAC

2度房室ブロックとは?

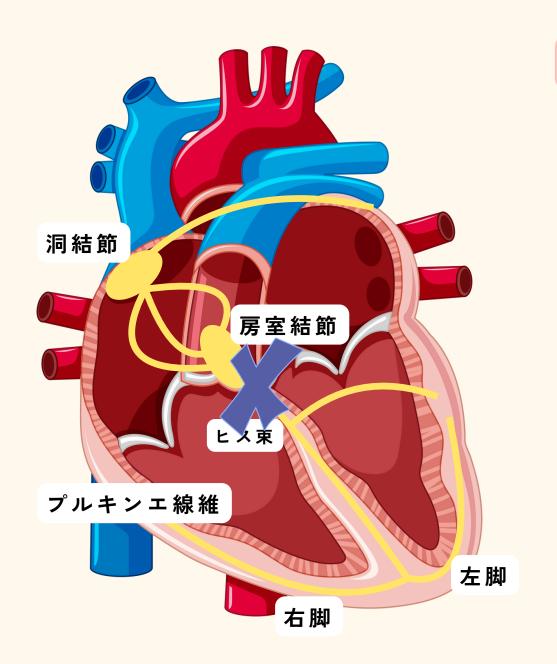
2度房室ブロックは、心房から心室への電気信号の一部が伝わらない状態で、これは、房室結節やHis束で伝導障害が起こるためです。心電図上では、P波がQRS波に続かず脱落するのが特徴です。2度房室ブロックには、ウェンケバッハ型とモビッツII型の2種類があり、特に、モビッツII型は進行リスクが高く、場合によってはペースメーカーが必要になることがあります。



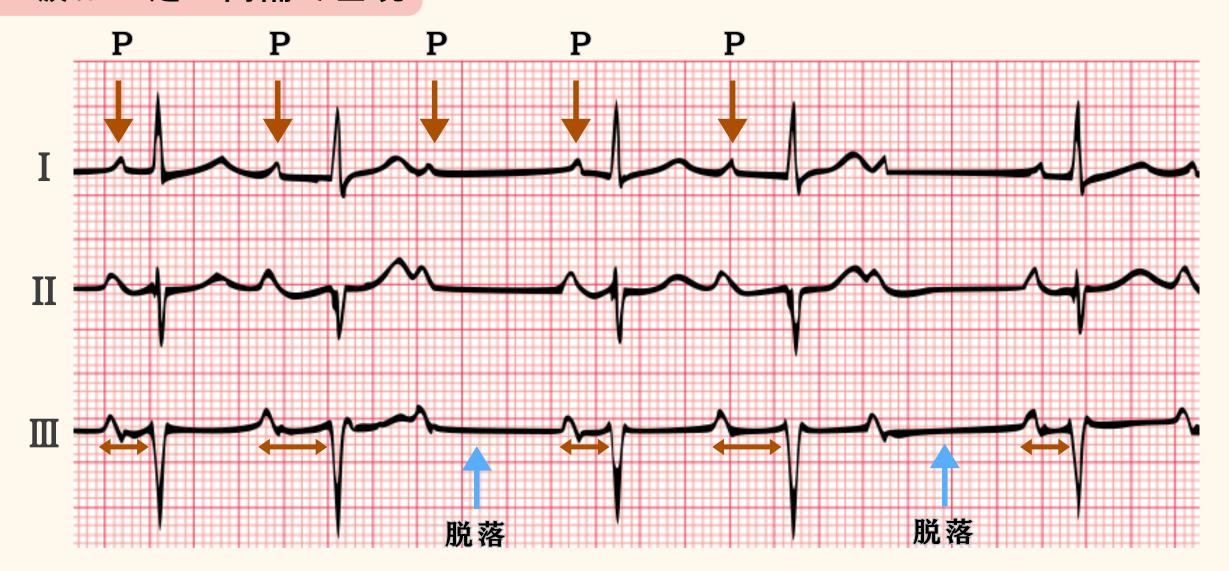
ウェンケバッハ型 2度房室ブロック



※ウェンケバッハ型は脱落前のPQ時間が 脱落後のPQ時間より長いことで判断できる

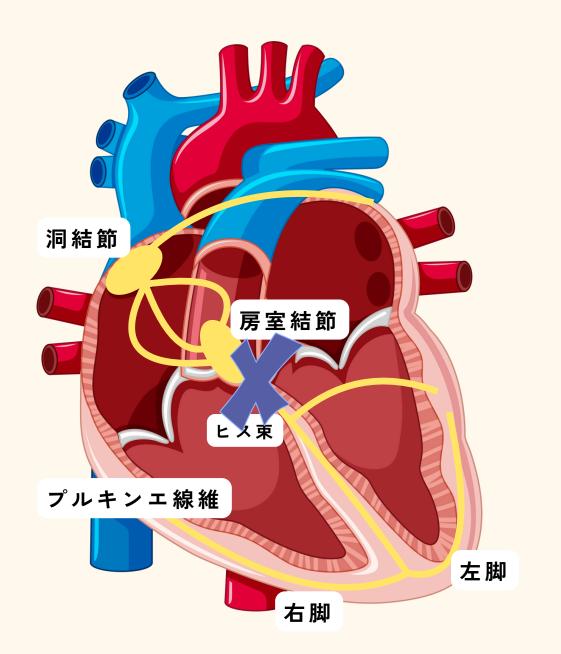


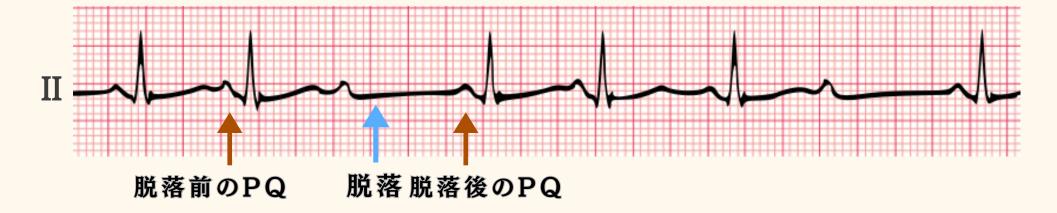
①P波は一定の間隔で出現



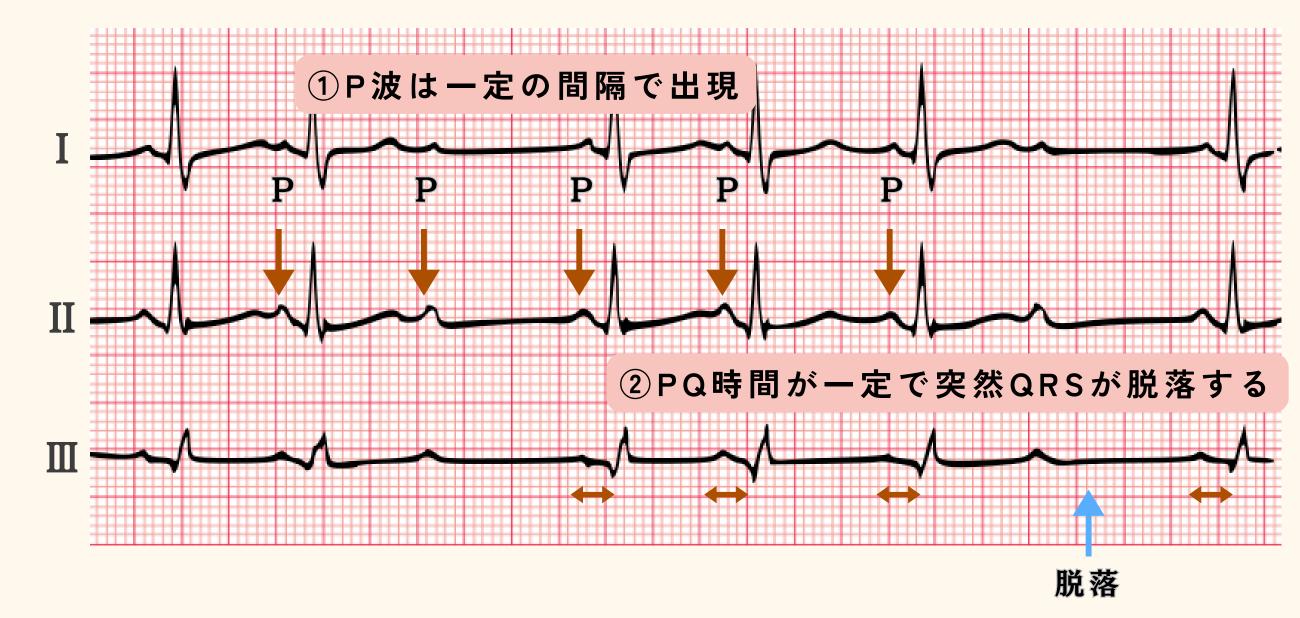
②PQ時間が徐々に延長してQRSが脱落する

モビッツ II 型 2度房室ブロック



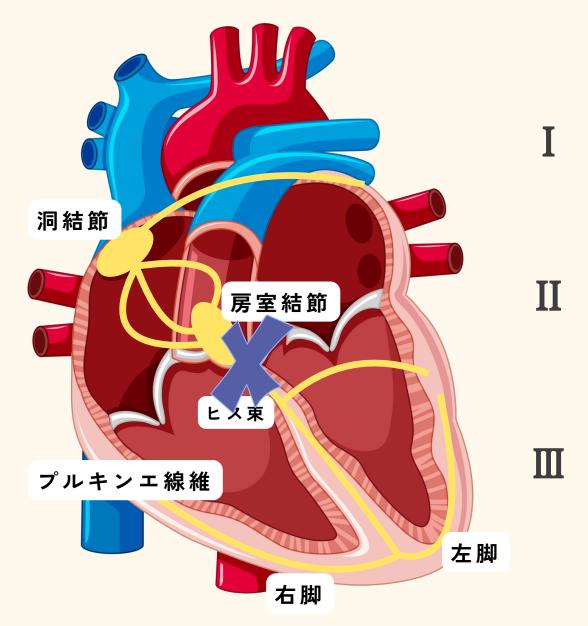


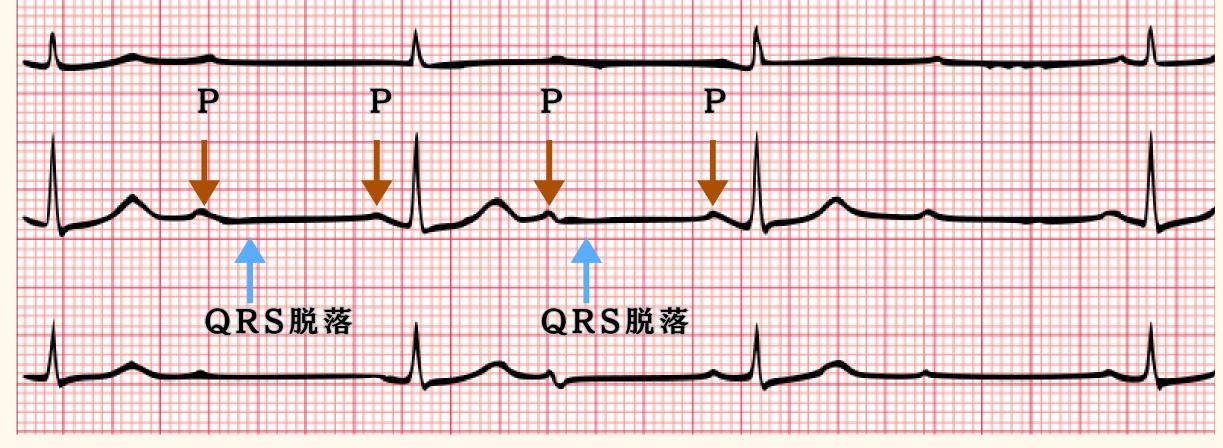
※モビッツⅡ型は、QRSが脱落する前後でPQ間隔が一定であることで判断できる。



2:1房室ブロック

房室伝導が時折途絶える二度房室ブロックのうち、房室伝導比が 2:1の場合は「2:1房室ブロック」と呼ばれます。この状態では、ウェンケバッハ型とモビッツII型を区別することはできません。

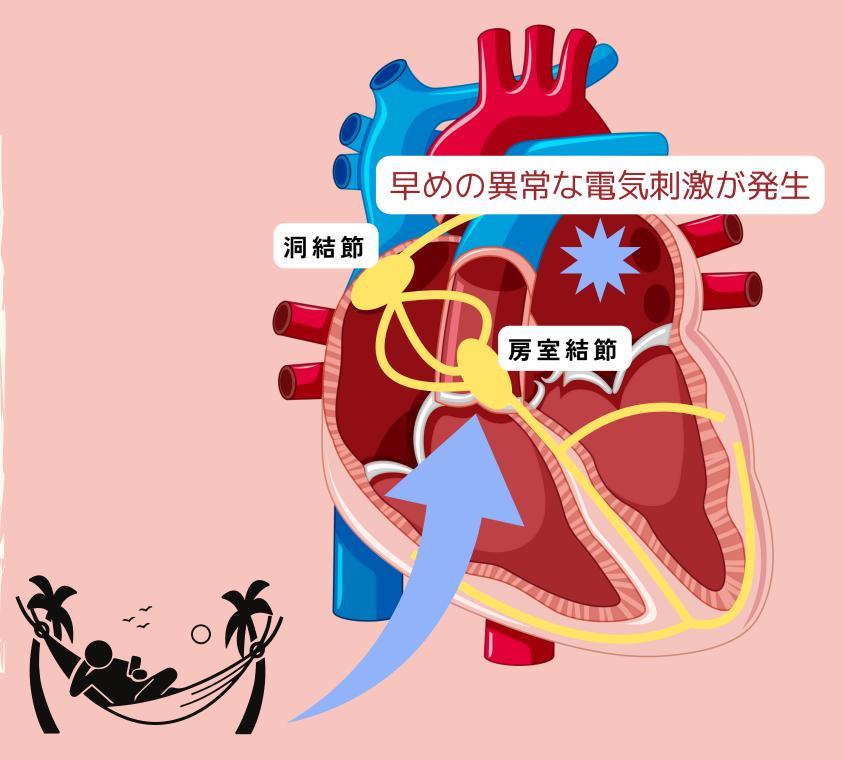




- ①P波が一定間隔で出現
- ②QRS波がP波の間に1拍おきに脱落

blocked PACとは?

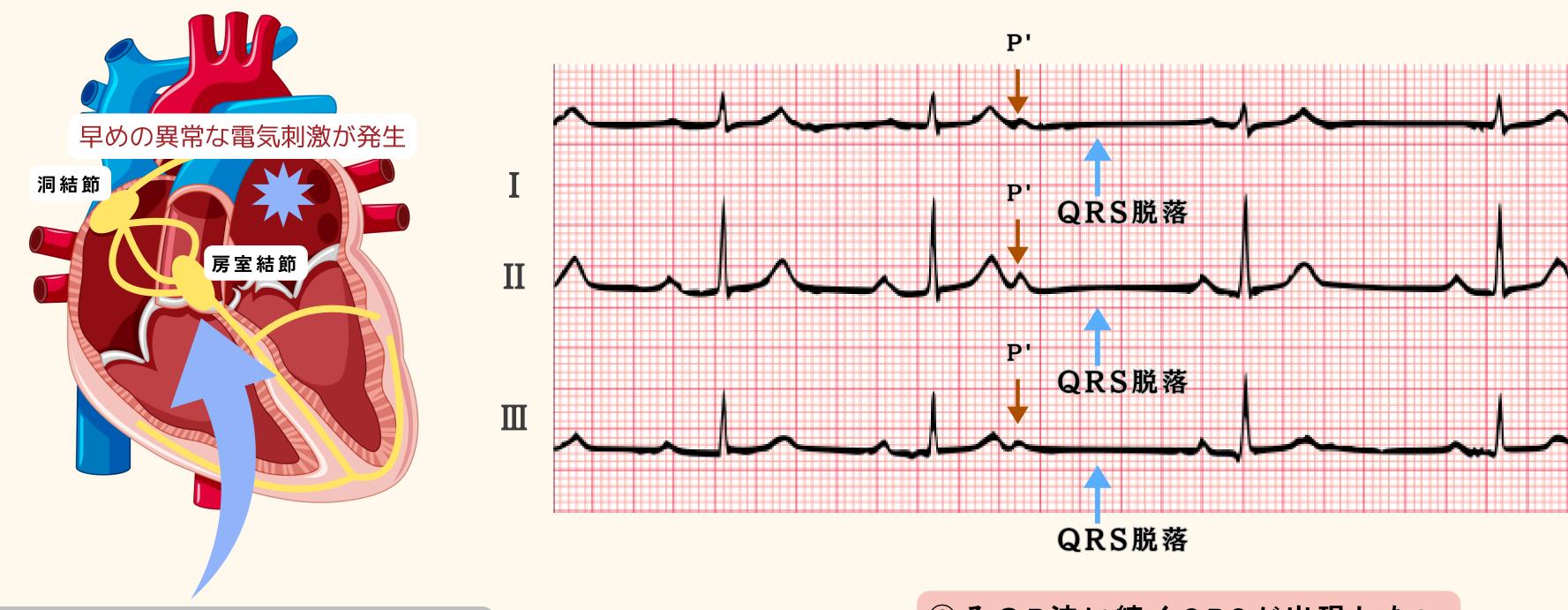
非伝導性の上室性期外収縮(blocked PAC)とは、心室に伝わらない上室性期外収縮のことです。電気信号が伝わらない状態をブロック(block)といいます。上室性期外収縮が早いタイミングで発生すると、房室結節が不応期(休み時間)のため、信号が心室まで伝わりません。不応期は刺激に反応できない時間であり、ちょうどそのタイミングに上室性期外収縮が重なると、心室へ興奮が伝わらなくなります。



房室結節が休憩中のため、早すぎる刺激には反応しない

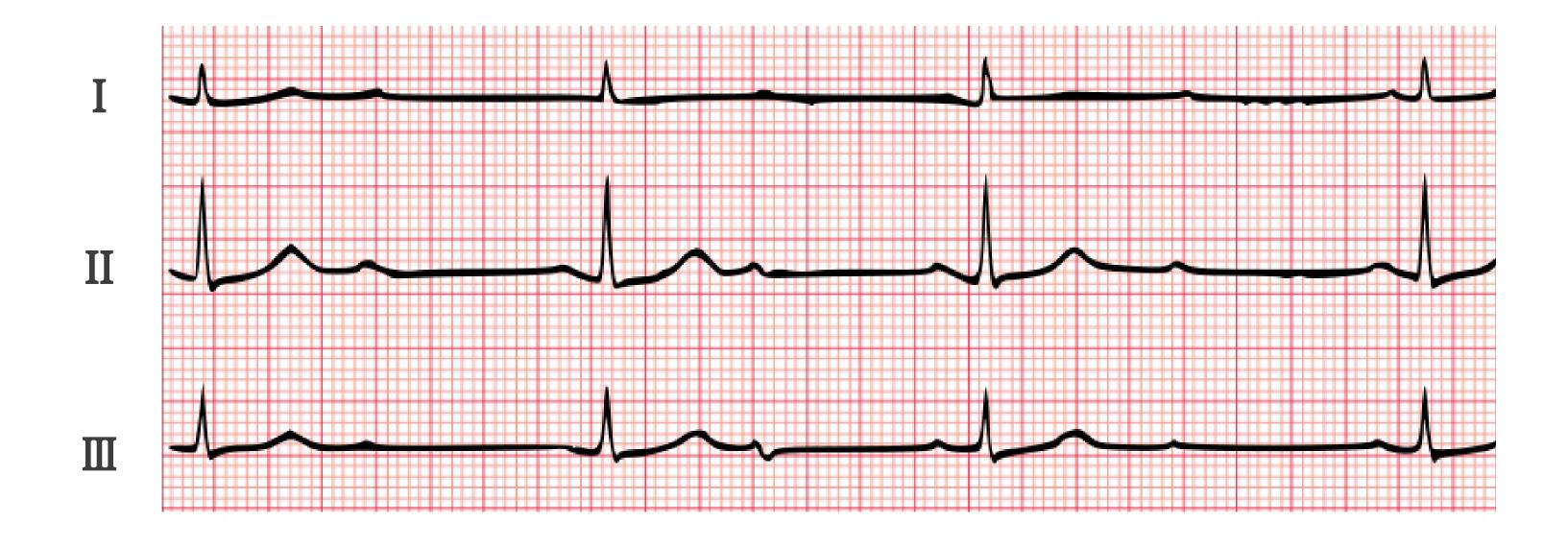
blocked PAC (非伝導性の上室性期外収縮)

①予定より早期にに異所性のP'が出現



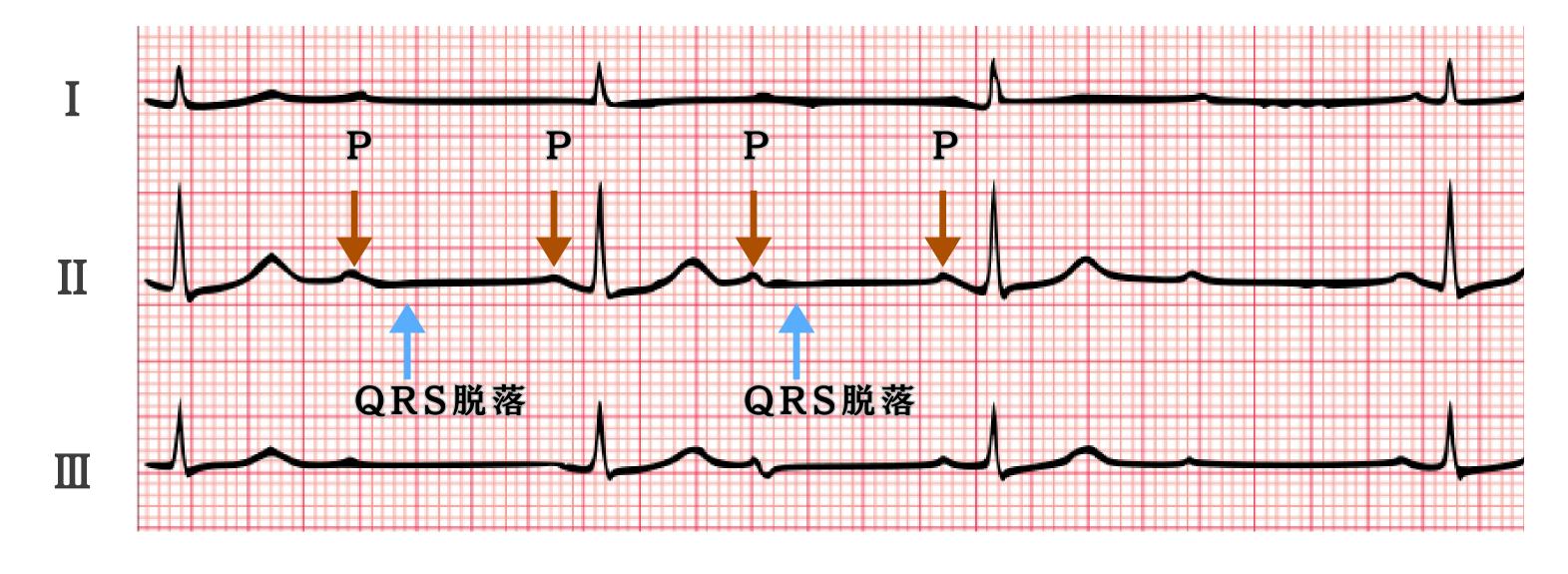
房室結節が休憩中(不応期)のため、 早すぎる刺激には反応しない ②そのP波に続くQRSが出現しない

第1問



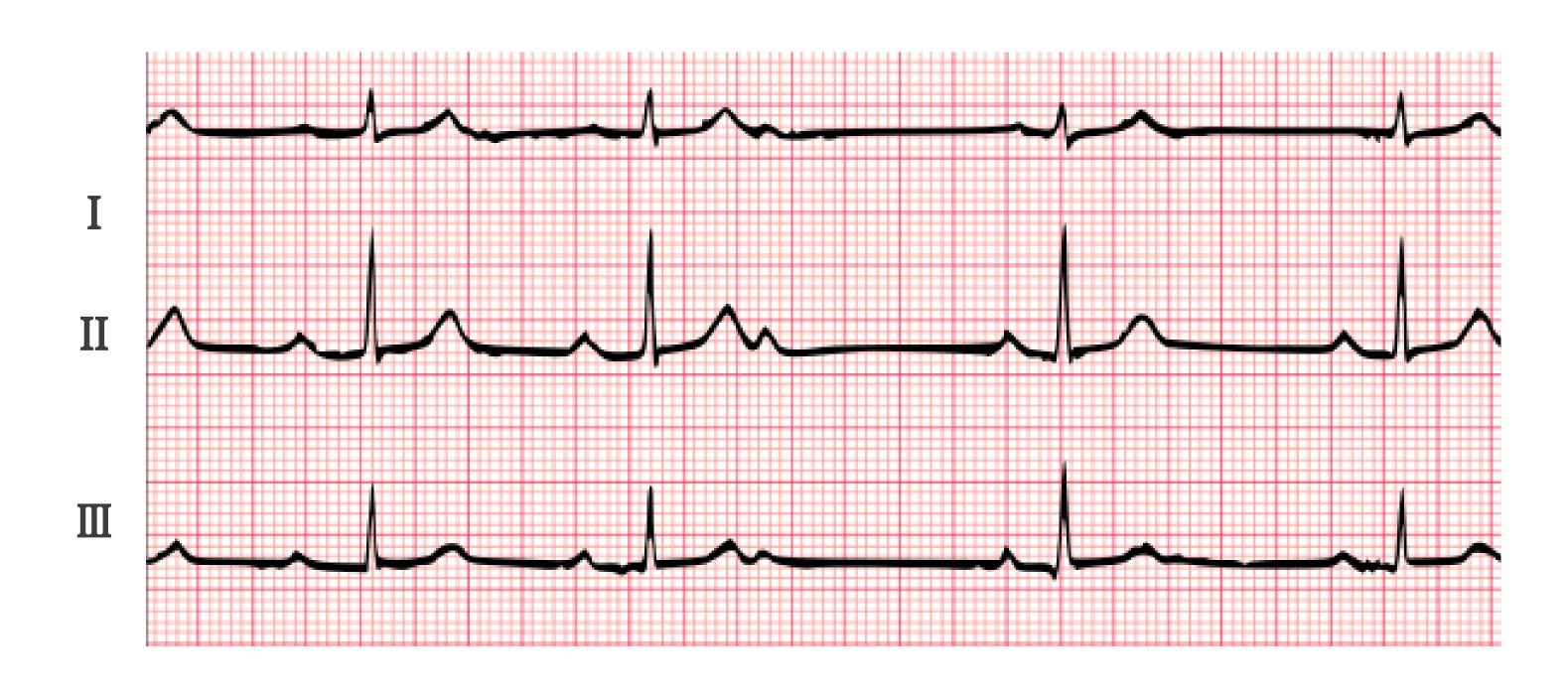
第1問

答え 2:1 房室ブロック



- ①P波が一定間隔で出現
- ②QRS波がP波の間に1拍おきに脱落

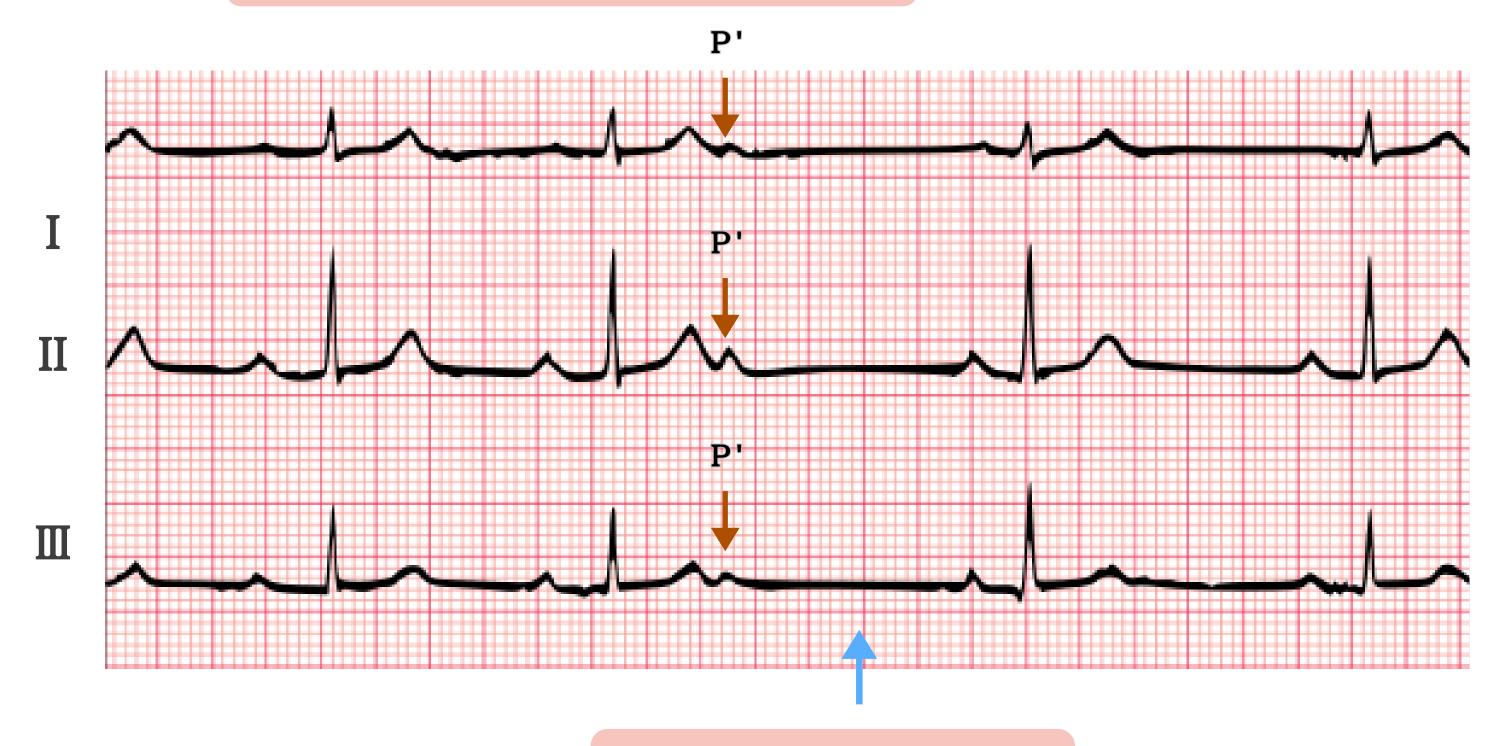
第2問



第2問

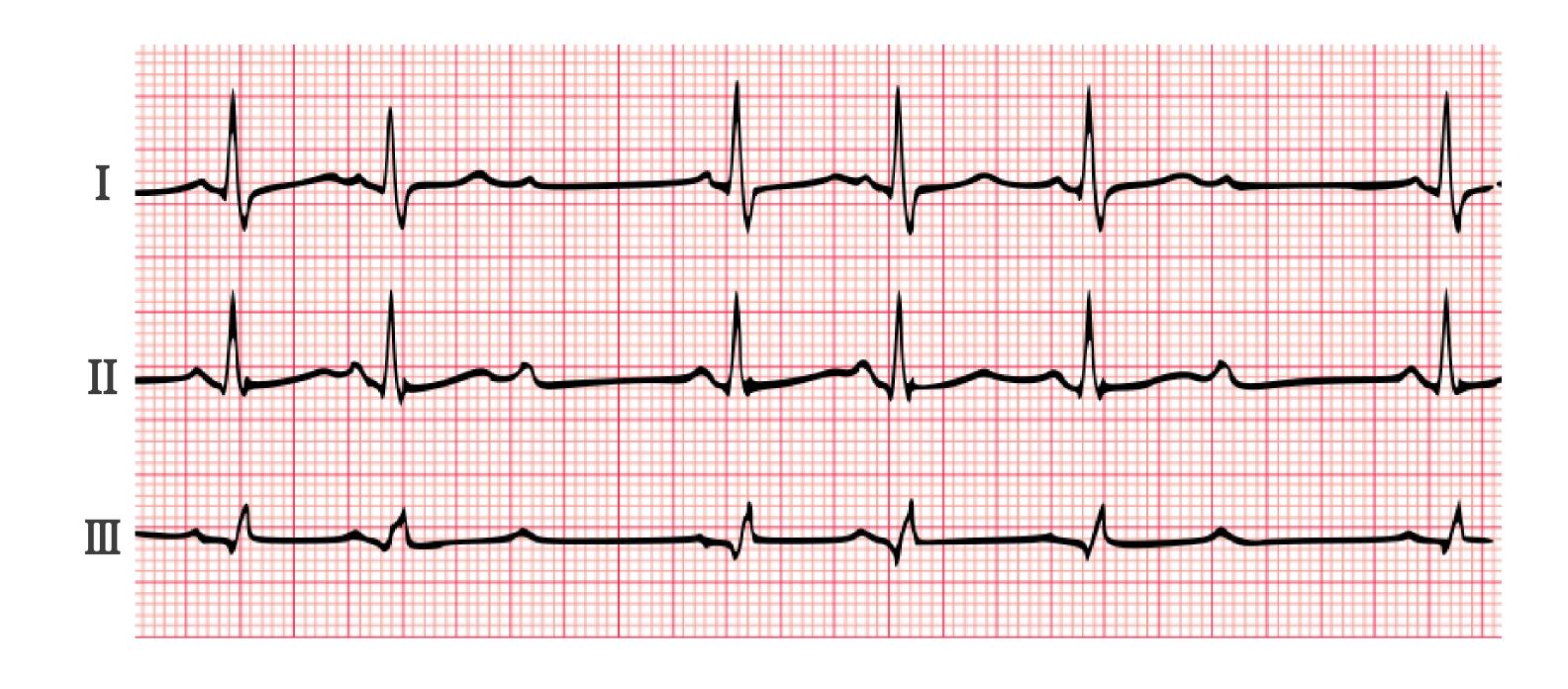
答え blocked PAC (非伝導性の上室性期外収縮)

①予定より早期にに異所性のP'が出現



②正常なP-QRSがない

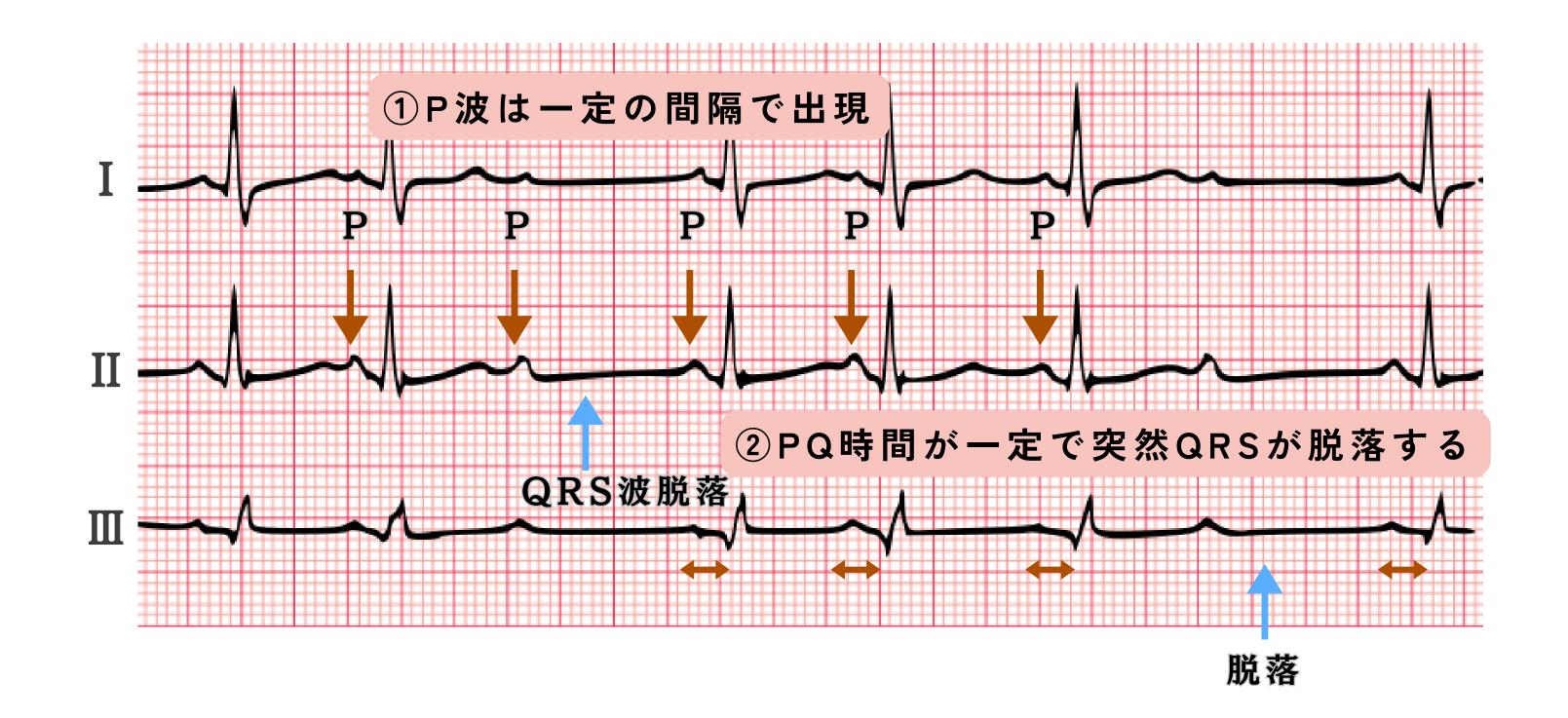
第3問



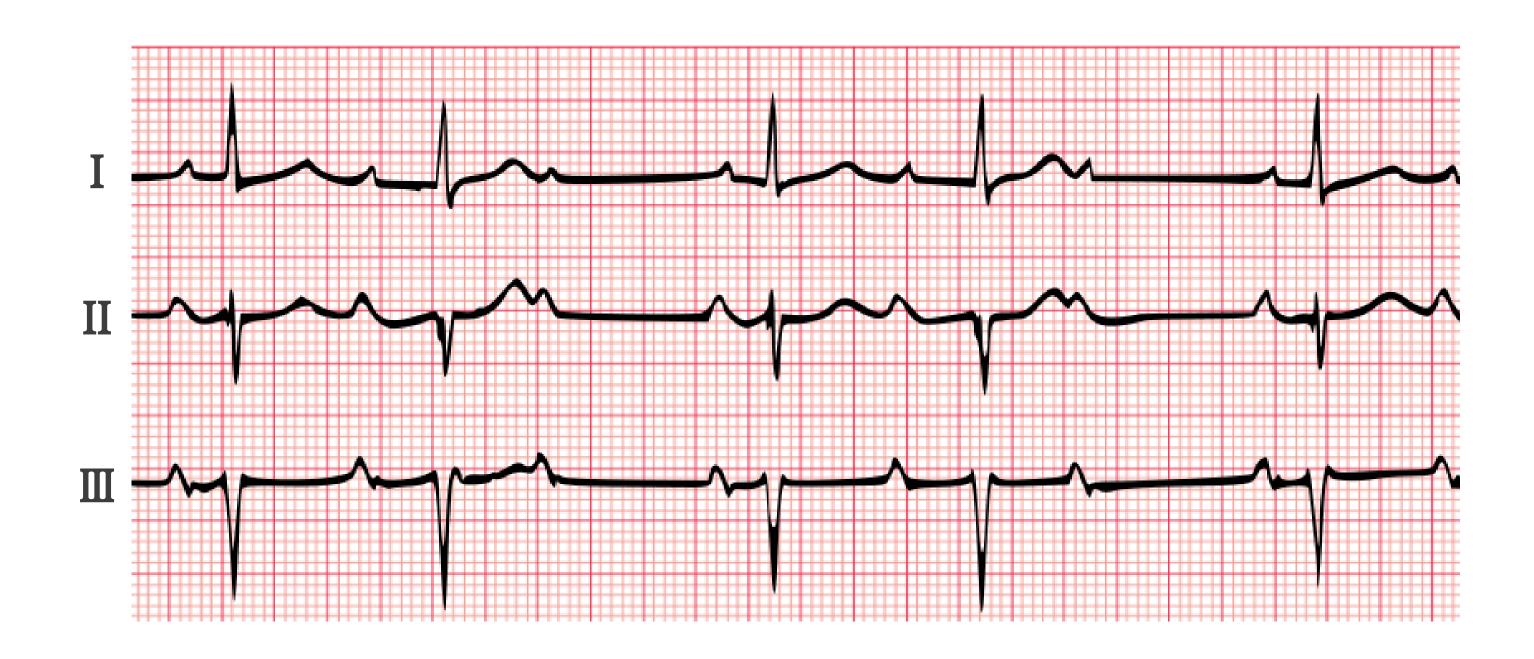
第3問

答え モビッツ II 型 2度房室ブロック

※モビッツⅡ型は、QRSが脱落する前後で PQ間隔が一定であることで判断できる。



第4問

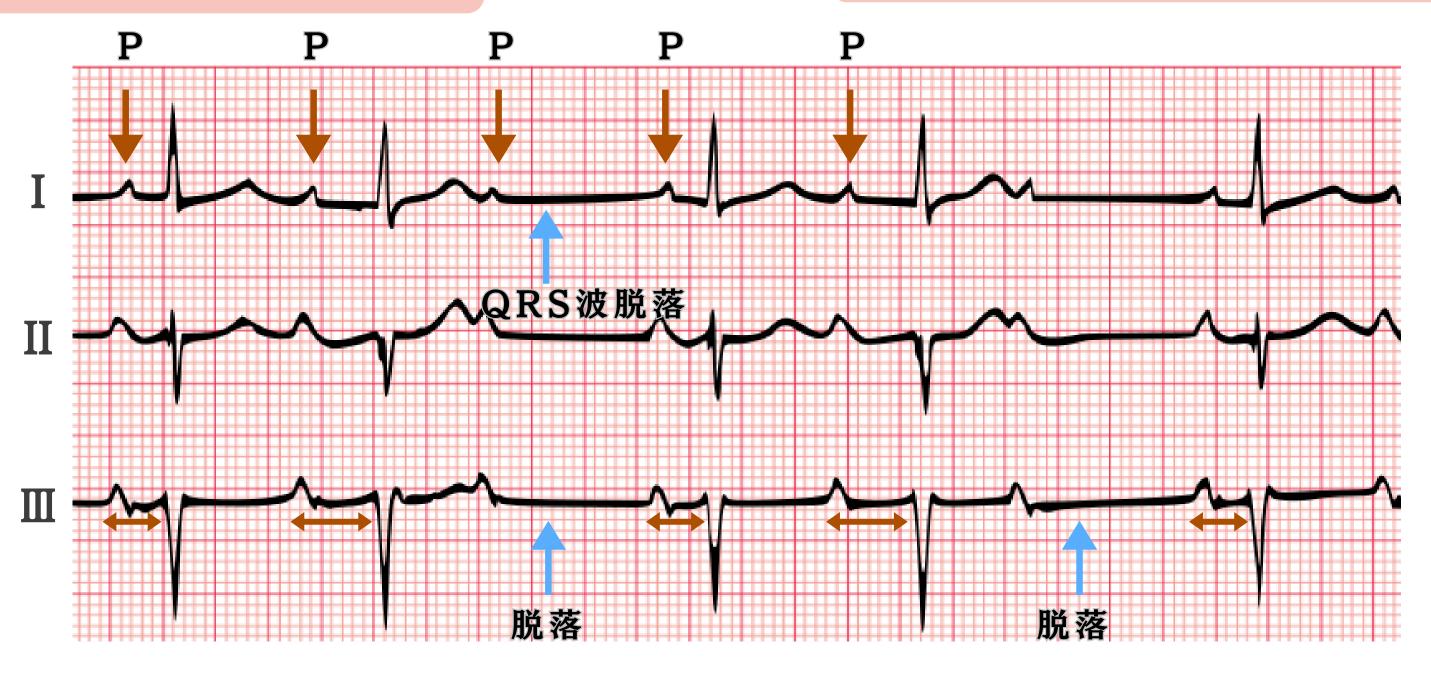


第4問

答え ウェンケバッハ型 2度房室ブロック

①P波は一定の間隔で出現

※ウェンケバッハ型は脱落前のPQ時間が 脱落後のPQ時間より長いことで判断できる



②PQ時間が徐々に延長してQRSが脱落する

徐脈編1のまとめ

ココだけは抑えておこう!!

脱落前のPQ時間が脱落 後のPQ時間より長い

QRSが脱落する前後で PQ間隔が一定であること

QRS波がP波の間に1拍おきに脱落

予定より早期にに異所性の P'が出現(PP間隔がズレる)



ウェンケバッハ型



モビッツ川型



2:1 房室プロック



blocked PAC